



平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月4日

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3658 URL http://corp.ebookjapan.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 齊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 礒江 英子 (TEL) 03(6272)9244
 四半期報告書提出予定日 平成24年9月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第2四半期の業績 (平成24年2月1日～平成24年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	1,353	44.4	202	22.7	202	22.8	114	△30.5
24年1月期第2四半期	937	—	164	—	164	—	164	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	56.85	52.83
24年1月期第2四半期	89.30	—

(注) 1. 当社は、平成23年1月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年1月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成24年1月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

3. 平成23年8月30日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第2四半期	1,500	897	59.7
24年1月期	1,330	779	58.5

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 896百万円 24年1月期 779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の業績予想 (平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,960	36.0	350	13.2	350	18.6	205	△45.0	102.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期2Q	2,110,200株	24年1月期	2,107,300株
② 期末自己株式数	25年1月期2Q	100,000株	24年1月期	100,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期2Q	2,009,013株	24年1月期2Q	1,839,073株

(注) 平成23年8月30日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成24年1月期第2四半期の期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年9月5日に機関投資家及びアナリスト向けの、平成24年9月19日に個人投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。ただし、欧州財政不安が依然として続くなかで、世界景気は減速感が広がっております。

そのような中、電子書籍を取り巻く状況においては大手企業による廉価な電子書籍専用機の販売や電子配信の開始により、業界全体が活発化しております。株式会社インプレスR&Dは、平成24年度以降の日本の電子書籍市場は、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場の急速な立ち上がりにより、平成28年度には2,000億円になると予想しています。(出典:「電子書籍ビジネス調査報告書2012」)電子書籍を閲覧するデバイスにおいても毎年拡大基調となっており、株式会社MM総研の調べでは、平成23年度のタブレットの出荷台数は前年比2.3倍の278万台、電子書籍専用端末の出荷台数は前年比2.1倍の33万台となり、平成28年度にはそれぞれ798万台、306万台になると予測しています。

このような事業環境のもと、当社においても品揃えの一層の拡充、ブックリーダーのユーザーインターフェースの改善、そして新規会員の獲得のためにプロモーションを実施した結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高1,353,996千円(前年同期比44.4%増)、営業利益202,233千円(同22.7%増)、経常利益202,384千円(同22.8%増)となりました。四半期純利益につきましては、前年同期においては、税務上の繰越欠損金等が税金費用を抑えていましたが、当四半期末においては、税務上の繰越欠損金の解消に伴い、税金費用が発生した等の理由により、114,205千円(同30.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子書籍配信

当第2四半期累計期間においても、コミックを中心に品揃えの拡充に努めた結果、2012年5月にラインナップがコミックだけで5万冊を突破しました。一般書籍においても株式会社早川書房の作品の取扱い開始や文春文庫のモバイル端末への閲覧が可能となるなど、取扱い増加に注力いたしました。その結果、平成24年7月末時点の取扱い数は、61,960冊(内訳:男性漫画30,060冊、女性漫画20,890冊、総合図書6,710冊、その他4,300冊)となりました。

利用者の利便性の向上にあたっては、ダウンロードが完了していなくても本の続きを読み進むことができるプログレッシブダウンロード形式のブックリーダー(β版)をリリースすることができました。以上の結果から、当第2四半期累計期間の売上高は、1,292,713千円(前年同期比50.0%増)となりました。

②電子書籍提供

取引先への主力作品の提供及び各種キャンペーンを実施しましたが、サイトリニューアルに伴い当社からの作品の提供数が従前のレベルにまで達していないこと等により、当第2四半期累計期間の売上高は52,923千円(前年同期比24.4%減)となりました。

③その他の事業

主としてイーブック図書券の販売等により、当第2四半期累計期間の売上高は、8,358千円(前年同期比54.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 総資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,500,913千円(前事業年度末比170,111千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,449,769千円(同175,068千円増)、固定資産が51,143千円(同4,957千円減)であります。流動資産増加の主たる要因は、主として売上の増加に伴い、現金及び預金が183,008千円増加した一方で、繰越欠損金の減少により繰延税金資産が51,920千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は603,697千円(同51,963千円増)となりました。その主たる要因は、売上の増加に伴い買掛金が35,114千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は897,215千円(同118,147千円増)となりました。その主たる要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加114,205千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ133,008千円増加し、1,056,116千円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得た資金は185,621千円(前年同四半期は229,401千円の回収)となりました。主な資金増加要因としては、売上の伸長による税引前四半期純利益の計上202,384千円及び仕入れ債務の増加額35,114千円によるものであります。これに対して主な資金の減少要因としては、売掛金の増加に伴う減少額44,172千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は56,093千円(前年同四半期は10,285千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により得た資金は3,480千円(前年同四半期は86,987千円の使用)となりました。これは主に新株予約権の行使に伴う新株の発行によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におきましては、第2四半期累計期間及び通期ともに平成24年3月14日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更ありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の変更)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,108	1,106,116
売掛金	270,673	314,845
仕掛品	1,135	1,058
貯蔵品	357	354
繰延税金資産	76,708	24,788
その他	2,718	2,606
流動資産合計	1,274,700	1,449,769
固定資産		
有形固定資産	15,034	13,075
無形固定資産	34,434	33,670
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,606	442
その他	4,026	3,954
投資その他の資産合計	6,633	4,397
固定資産合計	56,101	51,143
資産合計	1,330,802	1,500,913
負債の部		
流動負債		
買掛金	389,736	424,850
未払法人税等	6,571	37,138
ポイント引当金	39,722	29,974
賞与引当金	—	26,280
その他	115,337	85,085
流動負債合計	551,367	603,328
固定負債		
資産除去債務	366	369
固定負債合計	366	369
負債合計	551,733	603,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,893	194,633
資本剰余金	203,904	205,644
利益剰余金	467,872	582,078
自己株式	△85,602	△85,602
株主資本合計	779,068	896,754
新株予約権	—	461
純資産合計	779,068	897,215
負債純資産合計	1,330,802	1,500,913

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	937,449	1,353,996
売上原価	476,056	702,883
売上総利益	461,393	651,113
販売費及び一般管理費	296,618	448,880
営業利益	164,774	202,233
営業外収益		
受取利息	1	1
不要書籍売却益	52	120
還付加算金	52	—
その他	4	29
営業外収益合計	110	151
営業外費用		
支払利息	57	—
営業外費用合計	57	—
経常利益	164,827	202,384
税引前四半期純利益	164,827	202,384
法人税、住民税及び事業税	475	34,093
法人税等調整額	130	54,084
法人税等合計	606	88,178
四半期純利益	164,221	114,205

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	164,827	202,384
減価償却費	6,745	8,086
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,834	△9,748
受取利息	△1	△1
支払利息	57	—
売上債権の増減額(△は増加)	△36,585	△44,172
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,071	79
仕入債務の増減額(△は減少)	100,178	35,114
その他の資産・負債の増減額	3,939	△5,172
小計	230,399	186,570
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△49	—
法人税等の支払額	△950	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,401	185,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△2,962	△570
無形固定資産の取得による支出	△7,323	△5,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,285	△56,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,385	—
株式の発行による収入	—	3,480
自己株式の取得による支出	△85,602	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,987	3,480
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,128	133,008
現金及び現金同等物の期首残高	358,232	923,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	490,361	1,056,116

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。